

新型コロナウイルス感染症を受けた防衛当局間での感染症対策協力

- ・ 2020年4月以降、各国の防衛当局に対し、大使館などを通じて、新型コロナウイルス感染症に対する自衛隊の活動、「ダイヤモンド・プリンセス号」における活動中、隊員に感染者が出なかった要因及び自衛隊中央病院における症例分析の概要などについてとりまとめた資料（英語）を共有。
- ・ また、2020年11月以降、同様に各国の防衛当局に対し、各国が感染症流行下において災害派遣活動を行う際に役立ててもらうことを目的に、特に同年7月に西日本で発生した豪雨や9月に九州に接近した台風10号への対応における感染症予防策についてとりまとめた資料（英語）を共有。
- ・ さらに、気候変動・自然災害への対応が重要な課題となっている太平洋島嶼国に対する協力として、2021年2月、米インド太平洋軍・ニュージーランド国防省主催の「太平洋環境安全保障フォーラム（Pacific Environmental Security Forum : PESF）」（オンライン形式）に参加し、日本のHA/DR活動及び感染症予防策の知見共有をテーマに防衛省からプレゼンを実施。
- ・ 防衛省においては、各国との大臣電話会談（V T Cを含む。）や実務者協議等を通じて、引き続き、防衛当局として感染症対策を行う中で得られた教訓等の共有や、他国の感染症対処能力を高めるための第三国協力を含め、各国との感染症対策協力を行っていく。

【参考】2020年11月以降、各国に共有した資料



【参考】PESF2021 概要

- ✓ フォーラムの目的
インド太平洋地域の環境安全保障の諸課題を検証し、多角的なアプローチにより備えと対処を向上させる。
- ✓ 参加国・形式
米・豪・NZをはじめ、バヌアツ・フィジー・ソロモン諸島、キリバツ・パラオ等、インド太平洋地域各国から官民様々なスピーカーが参加し、プレゼンを実施。

